



## 平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月10日

上場取引所 東 名

上場会社名 ホシザキ電機株式会社  
コード番号 6465 URL <http://www.hoshizaki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 坂本 精志

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 本郷 正己

TEL 0562-96-1320

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	130,426	5.3	12,708	54.2	12,104	39.2	7,705	74.1
21年12月期第3四半期	123,848	—	8,239	—	8,698	—	4,425	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	106.94	106.85
21年12月期第3四半期	61.42	—

(注)平成20年12月期第3四半期については、四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、平成21年12月期第3四半期の各項目の対前年同四半期増減率は記載を省略しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	187,054	109,697	58.6	1,520.63
21年12月期	176,345	104,969	59.5	1,456.85

(参考)自己資本 22年12月期第3四半期 109,564百万円 21年12月期 104,969百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	0.00	—	20.00	20.00
22年12月期	—	0.00	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	168,200	4.9	12,400	41.9	12,100	28.0	7,700	57.3	106.87

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、[添付資料]P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名

）、除外 一社（社名

）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年12月期3Q 72,052,250株 21年12月期 72,052,250株

② 期末自己株式数 22年12月期3Q 314株 21年12月期 150株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 22年12月期3Q 72,052,023株 21年12月期3Q 72,052,175株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成22年8月2日に公表いたしました通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、[添付資料]P. 2「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における国内の経済環境は、継続的な円高による輸出の減退に加え、デフレや雇用の低迷が伴う厳しい環境で推移いたしました。海外におきましては、中国等アジア諸国の経済成長の一方で、欧州の財政危機に伴う景気の低迷、米国では不況の長期化による雇用水準が低迷する等厳しい環境が継続し、国内外とも先行き不透明な状況下にあります。

当社グループを取り巻く環境におきましても、主要販売先である外食産業において、消費者の節約志向は依然として強く、顧客獲得に向けた企業間競争が激化する等厳しい経営環境が続きました。

このような環境のなか、当社グループは、外食産業への積極的な拡販に加えて、外食産業以外の新規顧客の開拓にも積極的に努めてまいりました。また、ITを活用した業務の効率化や生産性の向上、原価低減並びに販売費及び一般管理費の削減に継続して取り組みました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,304億26百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は127億8百万円（同54.2%増）、経常利益は121億4百万円（同39.2%増）となりました。また、四半期純利益は77億5百万円（同74.1%増）となりました。

（所在地別セグメントの業績）

## ①日本

国内におきましては、依然として厳しい市場環境のなかで、プレハブ冷凍冷蔵庫、スチームコンベクションオープン等の拡販による新規顧客の開拓や保守サービスの強化、大手ナショナルチェーン店への積極的な営業活動を展開してまいりました。その結果、売上高は1,031億67百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益は154億15百万円（同25.0%増）となりました。

## ②北中米

北中米におきましては、製氷機、ディスペンサの拡販、業務用冷蔵庫の品揃え強化等を推進してまいりました。その結果、売上高は211億39百万円（前年同期比12.4%増）、営業利益は26億70百万円（同73.8%増）となりました。

## ③その他の地域

その他の地域におきましては、欧州での製氷機、業務用冷蔵庫の品揃え強化、中国等アジアでの販売拠点の強化等を推進してまいりましたが、為替の影響等もあり、売上高は108億94百万円（前年同期比15.9%増）、営業利益は4億12百万円（前年同期は53百万円の営業損失）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ107億8百万円増加し、1,870億54百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ114億64百万円増加し、1,135億57百万円となりました。主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金、有価証券の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ7億55百万円減少し、734億96百万円となりました。主な要因は、投資その他の資産が増加しましたが、有形固定資産、のれんの減少によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末に比べ59億80百万円増加し、773億56百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ61億93百万円増加し、578億32百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金、未払法人税等、賞与引当金の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2億13百万円減少し、195億24百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ47億28百万円増加し、1,096億97百万円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定が減少しましたが、利益剰余金の増加によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年12月期通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期の業績や当社グループを取り巻く経営環境等を勘案した結果、平成22年8月2日に公表いたしました通期連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末における棚卸高は、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末に係る実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算定しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	70,854	66,796
受取手形及び売掛金	19,841	14,817
有価証券	4,505	3,283
商品及び製品	5,457	5,518
仕掛品	2,201	1,959
原材料及び貯蔵品	4,376	4,364
その他	6,433	5,495
貸倒引当金	△114	△143
流動資産合計	113,557	102,092
固定資産		
有形固定資産	37,823	39,393
無形固定資産		
のれん	9,993	11,928
その他	7,153	6,950
無形固定資産合計	17,146	18,879
投資その他の資産	18,526	15,980
固定資産合計	73,496	74,252
資産合計	187,054	176,345
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,477	9,485
未払法人税等	4,215	2,122
賞与引当金	5,398	1,962
その他の引当金	1,850	2,156
その他	35,891	35,911
流動負債合計	57,832	51,638
固定負債		
退職給付引当金	12,473	12,239
その他の引当金	608	625
その他	6,442	6,872
固定負債合計	19,524	19,737
負債合計	77,356	71,376

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,772	7,772
資本剰余金	14,294	14,294
利益剰余金	93,927	87,664
自己株式	△0	△0
株主資本合計	115,994	109,731
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△25	△111
為替換算調整勘定	△6,404	△4,650
評価・換算差額等合計	△6,430	△4,762
少数株主持分	132	—
純資産合計	109,697	104,969
負債純資産合計	187,054	176,345

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	123,848	130,426
売上原価	77,701	80,006
売上総利益	46,147	50,419
販売費及び一般管理費	37,907	37,710
営業利益	8,239	12,708
営業外収益		
受取利息	170	188
受取配当金	8	8
その他	421	272
営業外収益合計	600	470
営業外費用		
支払利息	13	9
寄付金	29	—
為替差損	—	920
その他	99	144
営業外費用合計	142	1,073
経常利益	8,698	12,104
特別利益		
固定資産売却益	1	—
ゴルフ会員権売却益	2	—
受取和解金	—	1,240
その他	—	7
特別利益合計	3	1,247
特別損失		
固定資産廃棄損	64	—
減損損失	43	—
投資有価証券評価損	—	223
その他	38	108
特別損失合計	146	332
税金等調整前四半期純利益	8,555	13,019
法人税、住民税及び事業税	6,034	7,084
法人税等調整額	△1,904	△1,769
法人税等合計	4,130	5,315
少数株主損失(△)	—	△1
四半期純利益	4,425	7,705



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	8,555	13,019
減価償却費	3,109	3,121
のれん償却額	1,311	1,254
退職給付引当金の増減額(△は減少)	805	233
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,149	3,451
製品保証引当金の増減額(△は減少)	157	—
契約損失引当金の増減額(△は減少)	△283	△283
受取利息及び受取配当金	△179	△197
投資有価証券評価損益(△は益)	—	223
受取和解金	—	△1,240
売上債権の増減額(△は増加)	△2,218	△5,464
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,819	△719
仕入債務の増減額(△は減少)	—	1,450
未払金の増減額(△は減少)	△460	616
未払費用の増減額(△は減少)	—	234
未払消費税等の増減額(△は減少)	—	162
長期未払金の増減額(△は減少)	—	△113
その他	160	△117
小計	15,926	15,634
利息及び配当金の受取額	173	173
利息の支払額	△18	△3
和解金の受取額	—	1,240
法人税等の支払額	△2,754	△4,994
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,327	12,049
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△32,747	△62,040
定期預金の払戻による収入	18,615	66,705
有価証券の純増減額(△は増加)	—	△1,495
有形固定資産の取得による支出	△3,034	△1,677
無形固定資産の取得による支出	△1,416	△860
投資有価証券の取得による支出	△2,020	△3,046
信託受益権の純増減額(△は増加)	176	△63
事業譲受による支出	—	△314
その他	4	△92
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,421	△2,885

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,441	△1,441
少数株主からの払込みによる収入	—	135
その他	△7	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,448	△1,317
現金及び現金同等物に係る換算差額	308	170
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,234	8,016
現金及び現金同等物の期首残高	37,509	29,049
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,275	37,066

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

当社グループの事業内容は、電気機械機器の製造及び販売並びに保守サービスであり、その製品の種類・性質・製造方法・販売市場等の類似性を考慮すると、単一のセグメントによっているため、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	北中米 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	97,514	17,626	8,708	123,848	—	123,848
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,767	1,188	690	3,646	△3,646	—
計	99,282	18,814	9,398	127,495	△3,646	123,848
営業利益(△営業損失)	12,329	1,535	△53	13,811	△5,572	8,239

当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

	日本 (百万円)	北中米 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	100,870	19,506	10,049	130,426	—	130,426
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,297	1,632	845	4,775	△4,775	—
計	103,167	21,139	10,894	135,201	△4,775	130,426
営業利益	15,415	2,670	412	18,497	△5,789	12,708

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
2. 本国以外の区分に属する主な国又は地域は次のとおりであります。  
(1) 北中米……………米国、カナダ、メキシコ  
(2) その他の地域……欧州、東南アジア他  
3. 会計処理の方法の変更

前第3四半期連結累計期間

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、日本で30百万円減少しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日）

	北中米	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	17,603	9,052	26,656
II 連結売上高（百万円）	—	—	123,848
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	14.2	7.3	21.5

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日）

	北中米	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	19,521	10,389	29,911
II 連結売上高（百万円）	—	—	130,426
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	15.0	8.0	22.9

- （注） 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2. 各区分に属する主な国又は地域は次のとおりであります。  
 (1) 北中米……………米国、カナダ、メキシコ  
 (2) その他の地域……欧州、東南アジア他  
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

- （6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
 該当事項はありません。